

みずほCustomer Desk Report 2021/04/02 号(As of 2021/04/01)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】				公示仲値	110.84
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.76	1.1728	129.89	1.3788	0.7594
SYD-NY High	110.85	1.1780	130.25	1.3836	0.7620
SYD-NY Low	110.55	1.1712	129.67	1.3746	0.7533
NY 5:00 PM	110.61	1.1778	130.25	1.3834	0.7617
NY DOW	33,153.21	171.66	日本2年債	-0.1200	1.00bp
NASDAQ	13,480.11	233.24	日本10年債	0.1100	2.00bp
S&P	4,019.87	46.98	米国2年債	0.1615	0.02bp
日経平均	29,388.87	210.07	米国5年債	0.9050	▲3.18bp
TOPIX	1,957.64	3.64	米国10年債	1.6726	▲7.05bp
シカゴ日経先物	29,695.00	325.00	独10年債	-0.3265	▲3.30bp
ロンドンFT	6,737.30	23.67	英10年債	0.7955	▲4.80bp
DAX	15,107.17	98.83	豪10年債	1.7960	▲3.40bp
ハンセン指数	28,938.74	560.39	USDJPY 1M Vol	6.00	▲0.43%
上海総合	3,466.33	24.42	USDJPY 3M Vol	6.33	▲0.13%
NY金	1,728.40	12.80	USDJPY 6M Vol	6.55	▲0.08%
WTI	61.45	2.29	USDJPY 1M 25RR	-0.13	Yen Call Over
CRB指数	186.702	1.74	EURJPY 3M Vol	6.43	▲0.29%
ドルインデックス	92.93	▲0.30	EURJPY 6M Vol	6.90	▲0.12%

東京	東京時間のドル円は110.76レベルでオープン。仲値にかけて実需勢の買いが入ると110.83まで上昇。一巡後はクロス円が売られる展開にドル円も軟調に推移。しかし、110円半ば付近で下げ止まると、その後は高値圏まで反発。110.80レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.80レベルでオープン。イースター休暇を控えやや動意薄、110.62-85のレンジで推移し110.75レベルでNYに渡った。一方でクロス円は堅調で、ユーロ円で130円台を回復する場面もあったが、ドル円への影響は限定的だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は110円台後半で底堅く推移。米長期金利がじりじりと低下し、ドル買いが一巡するも、米ハイレート政策によるインフラ政策への期待感を背景に株式市場の堅調推移が円売りをサポート。早朝に110.85をつけ、110.75レベルでNYオープン。朝方は米国の新規失業保険申請件数と継続受給者数が予想を上回るもドル円の反応は限定的。ナスダックが大幅に上昇し、S&Pが初の4000台をつけるほか、米3月ISM製造業景況指数が予想を上回る中、その後はリスクオンムードが広まり円が売られるも、米金利低下に伴うドル売りが重しとなり、ドル円は小幅下落。午後に安値110.55をつける場面もあったが、クロス円が軒並み高となる中、この水準で下げ渋る。明日の米3月雇用統計発表を控え、終盤は様子見ムードが強まり、110.60近辺で小動きとなり、結局110.61レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、1.17台前半でスタート。イースター休暇前段で積極的な取引が手控えられるも、ユーロ円の上昇にサポートされ、1.1750まで上昇後、1.1742レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を手掛かりに進んだドル売りや、欧米株式市場の堅調な推移を好感したユーロ円の買いがサポート材料となり、一時1.1780まで上昇。午後は買いが一巡し、1.1770付近まで反落。終盤は1.1770近辺で方向感に乏しい展開となり、1.1778レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前経緯に基づいて変更される可能性があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することは禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

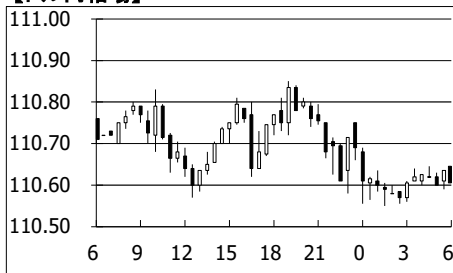
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月1日	09:30	豪 小売売上高(前月比)・確報	2月 -0.8%	-1.1%
	09:30	豪 貿易収支	2月 A\$7529m	A\$9872m
	21:30	米 新規失業保険申請件数	27-Mar 719k	675k
	22:45	米 マークイト製造業PMI・確報	3月 59.1	59.1
	23:00	米 建設支出(前月比)	2月 -0.8%	-1.0%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	3月 64.7	61.5

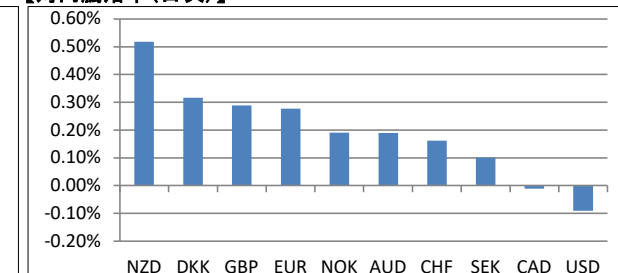
【本目の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月2日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 660k	379k
	21:30	米 失業率	3月 6.0%	6.2%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月 0.1%/4.5%	0.2%/5.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.00	1.1750-1.180	129.20-131.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はともみ合い推移。日中は仲値にかけて上昇圧力が強まるものの、その後は買いが続かず、110円台後半で海外時間となったが、株高・債券高の中ドル円は方向感なく推移。結局110円台半ばで取引を終えた。本日のドル円は引き続き110円台半ばでのレンジ推移を見込む。本日夜間には米雇用統計の発表を控え、方向感の出しにくい展開となる。NFP(非農業部門雇用者数)は660K(前回379K)と増加が予想されている。今回のNFPの数字は、昨年の新型コロナウイルスによるロックダウンなどの影響により大幅にマイナスとなった時期であり、季節調整がうまくいかず過大に表示されとの試算もあり、多少振れたとはいっても動意を与えるドライバーにはなりにくいと思われる。加えて、イースター休暇となることから、取引参加者も少ないことも一因となる。米金利については昨日大きくブルフラット。足許の金利上昇の揺り戻しとなった格好だが、OPEC+で示された通り、世界経済がゆっくりと回復に向かい原油需要が高まる状況下、米金利上昇圧力は依然続くと考えられる。中期的にはドル円は、引き続き上昇トレンド維持を見込む。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル		11	10